

かわぐち

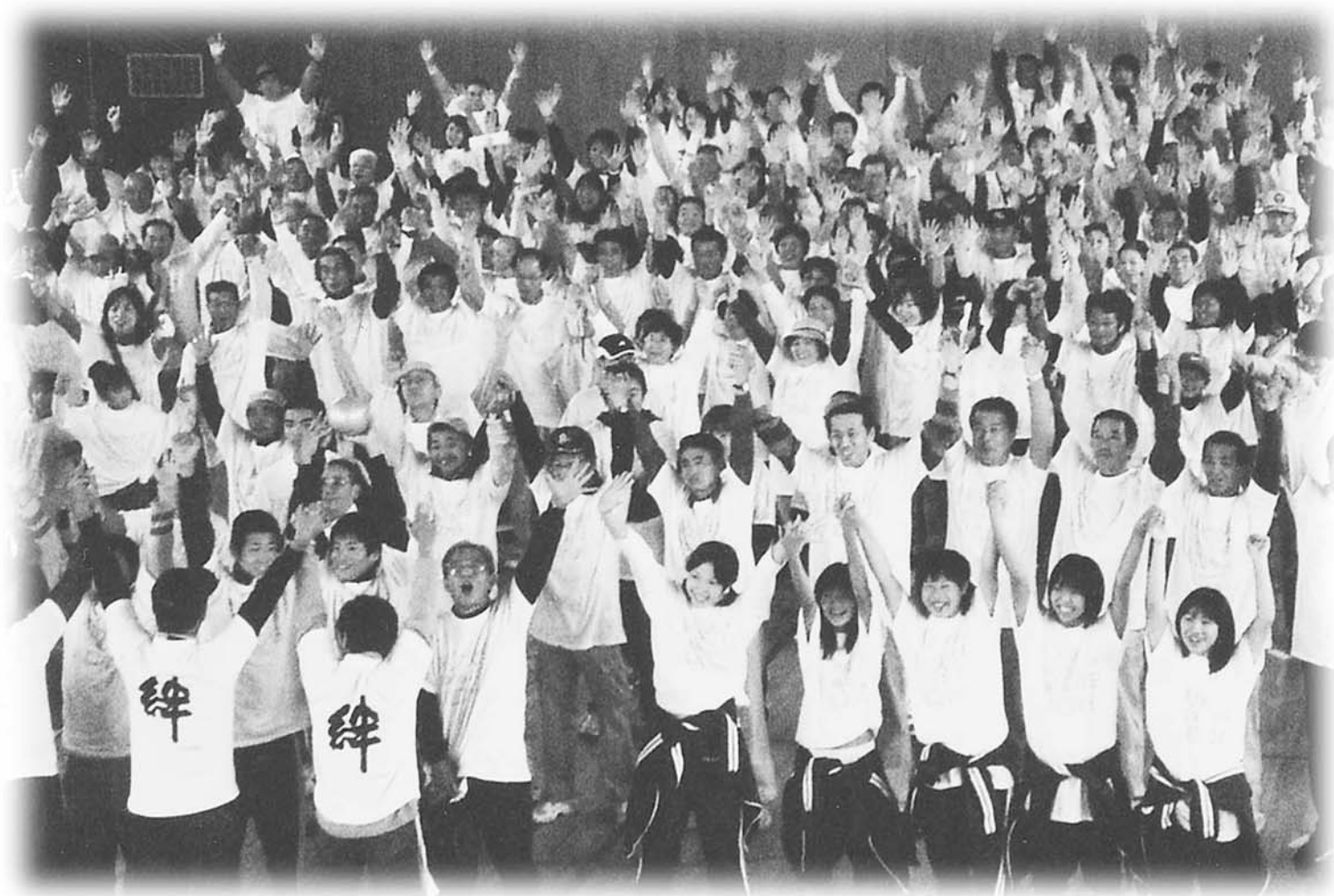
2005. 11 月号 No. 385

今月の主な内容

- 震災復興祈念式典を開催…………… 2～3
- 震災時の功績者を表彰…………… 4
- 震災から1年それぞれの思い…………… 5
- 川口町復興標語入賞作品決定…………… 6
- 震度7！その時わたしは…………… 7
- 震災1周年復興祈念イベント開催 …… 8～9

ほか

あたたかいご支援ありがとうございます



人文字で全国に感謝を伝えたい

10月22日、蒼丘の杜公園多目的広場において、「ボランティアと被災者でつくる感謝と復興の人文字メッセージ」の作成が行われました。全国からの支援に感謝を表す「ありがとうを川口から」という人文字を作るため、町内外から352人が参加。開始早々の突然の降雨により少しの間しか作れませんでした。同公園体育館で全国に向かって「ありがとう」の声をメッセージとして発信しました。



元気ですーかわぐちこころ
 廣井 優ちゃん(相川2.3歳)
 義弘さん 千景さん

大好きなおばあちゃんと妹のりおちゃんと優くん(右)

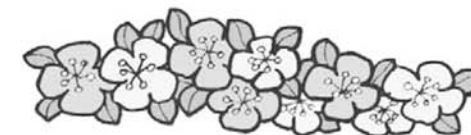
和食党の優くん、なかでも魚料理が大好きです。たくさんの友達と遊ぶことが好きで子育て支援センター「すこやか」に行くことを楽しみにしています。センターではブロックで遊んだり、外で砂遊びをしています。がんばり屋さんで芯の強い優くんでした。

俳句

大内迪子先生選 公民館句会(9月7日)

- 南風もぎ露に恙の胸ぬらし
- 家の中ころがしはこぶ大西瓜
- 病みてみて亡き母の愛萩の花
- この里に生あるかぎり大根時く
- 復興に働く人の玉の汗
- 終戦日軍歌唱ふも夢の中
- 種捨てし辺りに西瓜ごろごろと
- かなかなや水子地蔵に供花のあり
- 風呂上り座れば優し秋の風
- 台風の逸れたる気配雲白し
- 地震テント跡に首たれ月見草
- 盆過ぎの主婦に一ト日の休みあり
- 朝顔の花見て今日の始まりし
- 木陰吹く風が囁く秋の声
- 振返る地震の跡にも秋の草
- 盆の風出穂に優しく吹きわたり
- 朝な朝な揃ふ稲穂に鳥脅し

- 鈴木 良仙
- 星野 きの
- 岡村佐和子
- 上村たつお
- 石坂 シゲ
- 佐藤 信
- 新宮 山紫
- 藤田 節子
- 丸山 トシ
- 丸山 好枝
- 三輪 京子
- 村山むら女
- 目黒 せつ
- 森山 菊江
- 山田 チヨ
- 山田 久子
- 渡辺登子一



震災から1年 復興祈念式典を開催

突如襲った震度7の大地震により、5人の尊い命が失われ、7割を超える住宅が全半壊するなど、未曾有の被害を受けました。あの震災から1周年にあたる10月23日、川口町震災復興祈念式典が生涯学習センターで行われました。式典では、震災で亡くなられた方のご冥福を祈るとともに、全国から寄せられた支援に感謝し、復興に向けて力強く歩む決意をしました。

震災犠牲者を追悼し 復興を祈念

式典には約250人が出席し、地震が発生した午後5時56分に犠牲者に対する追悼の思いを捧げ、サイレンを合図に全町一斉に1分間の黙祷を行いました。

さらに星野町長の追悼慰霊のことばの後、遺族や主催者、参列者が献花し、それぞれの思いを胸に、震災犠牲者のご冥福を祈りました。

なお、これより先に人命救助や支援活動、復旧活動、避難所運営などに尽力された個人又は団体、地域などへの表彰や、復興標語入賞者への表彰が行われたほか、陸上自衛隊第12旅団の皆さんによる「涙そうそう」「少年時代」などの音楽演奏が行われました。



午後5時56分 震災犠牲者のご冥福を祈り黙祷



遺族による献花



追悼慰霊のことば



星野町長の式典挨拶



参列者全員で献花



参列者も一緒に歌った



陸上自衛隊第12旅団音楽要員による音楽演奏

震災時に功績のあった方を表彰

町では震災1周年にあたり、復興へ向けての決意を新たにするとともに、震災時に救助活動や復旧活動に尽力した個人、団体、地域に感謝と敬意を表し感謝状及び表彰状を贈りました。

表彰式は震災復興祈念式典で行われ、個人や団体、地域併せて104名が表彰されました。



表彰式の様子

など救援活動に貢献

- 東京都狛江市
- ▽支援米の提供や倉庫開放など救援活動に貢献
- 川口町農業協同組合
- ▽倒壊した教会建物を避難所用燃料として提供、避難所運営に貢献
- 天理教魚沼分教会
- ▽家屋の解体や土砂の撤去などの奉仕活動を行い復旧活動に貢献
- 天理教災害救援ひのきしん隊
- ▽高齢者に教会建物避難所として開放、食事の提供など町民の避難誘導に貢献
- 立正佼成会越後川口教会

表彰状(敬称略)

- ▽倒壊家屋からの人命救出に功績
- 丸山進、覚張豊昭、覚張伸和、丸山清、真島勝治、関正栄、関敏朗、網昭博、網享一、星野敏雄、渡辺勇作、吉原昌隆、渡辺昇平、星野弘男、星野忠行、山田弘樹、増田正利、阿部勇、森山崇、阿部新一、阿部和紀、阿部裕介、渡邊正晴

- ▽消火活動に功績
- 阿部晴夫 綱国夫 阿部新一

- ▽災害防衛活動に従事し町民の安全確保に尽力した功績
- 川口町消防団
- ▽医療救助活動に尽力した功績
- 庄司智 内田和宏

- ▽総代として地域住民のために尽力した功績
- 和南津総代 丸山秀夫
- 東川口総代 古田島友一郎
- 西川口総代 小宮山豊彦
- 牛ヶ島総代 平澤良樹
- 武道窪総代 阿部晴夫
- 前中山総代 覚張定一
- 前田山山総代 涌井清隆
- 前相川総代 広井伸昭
- 前木沢総代 星野忠雄
- 前荒谷総代 宮峰夫
- 前峠総代 星野寅吉

- ▽地域住民のために尽力した功績
- 長坂連絡長 覚張栄一
- 野田連絡長 堀沢裕司
- 川口1連絡長 真島勝治
- 川口2連絡長 石坂勝
- 川口3連絡長 中林浩
- 川口4連絡長 金子武
- 川口5連絡長 星野藤衛
- 川口6連絡長 星野藤夫
- 川口7連絡長 中林道男
- 牛ヶ島連絡長 丸山久一
- 前原連絡長 大淵正博
- 大谷内連絡長 森山修一
- 小高連絡長 角張洋治

- 川口中学校1区連絡長
- 川口中学校4区連絡長 村山達栄
- 前八郎場連絡長 小林久和
- 前上河原連絡長 覚張寅吉
- 前下村連絡長 喜多村一朗
- 前中山連絡長 星野清
- 前竹田連絡長 渡邊勝志
- 前牛ヶ首連絡長 星野源一郎
- 前小和北連絡長 喜多村祐芳
- 前相川口連絡長 真島治久
- 前岩出原連絡長 岡村和明
- 前山の相川団地連絡長
- 関忠雄
- 小西敬一郎
- 山田勇
- 山田隆男
- 関洋子
- 山崎昭彦
- 関口金一
- 上村常夫
- 阿部アイ子
- 石坂武幸
- 廣井榮吉
- 井浦静男
- 宮繁雄
- 佐藤邦夫
- 櫻井幹夫
- 星野秀雄
- 星野正晴
- 内藤益樹
- 川上新一

- ▽地震発生時の復旧活動に貢献した功績
- 川口町建設業協会

- ▽寸断した道路を地区住民の総力を挙げて復旧し集落の孤立解消に尽力した功績
- 木沢地区

- ▽町災害ボランティアセンターのスタッフとして参加し、献身的に活動した功績
- 川口町老人クラブ連合会

- ▽孤立した集落の道路復旧に尽力した功績
- (有)大淵商事
- 星野文夫(真星自動車)
- 矢野久美子
- 佐藤久美子

- ▽避難所の立上げに尽力し児童の心のケアに取り組んだ功績
- 田山山小学校職員一同
- ▽自宅車庫を地域の地震対策本部として提供するなど地域に尽力した功績
- 平澤直哉
- ▽営業用マイクロバスを提供し避難所運営に貢献した功績
- 星野進
- ▽自らの資材置場を地域の避難所として提供するなど地域に尽力した功績
- 星野哲也
- ▽ボランティアリーダーとして地域住民の支えになった功績
- 伊坂孝文

災害に強い町に

星野 藤衛(川口5)



10月23日、翌日開催される「第9回新潟県女子駅伝大会」のレセプションに出席していた。乾杯もすんで全員がグラス1〜2杯飲んだ頃、突然「ドスン」、「グラグラ」一瞬何が起きたのだろうか。夢でも見ているのかと思った。

少し時間が過ぎ席にもどる。会場の係員から館外に避難するように説明があり、出席者全員が誘導された。

会館ロビーのテレビで震源地が川口町の近くであることが知り驚いた。家内は同級会で湯沢町に行き家が留守だったので我が家はどんな状況になっているのか。近くに住んでいる長男や二男に携帯電話で状況把握を試みるが接続できず、長岡駅まで余震に悲鳴をあげる人たちと共に歩いた。長岡駅前まで30分位過ぎた頃

父を思い田んぼの復興を

丸山 陽子(長坂)



今でもあの時のことは忘れられない。夕飯の支度に台所で母と二人、野菜を選別していた。娘は風呂に入っていた。父は茶の間に居た。

まな板を洗っていた時、ガーン。何かがぶつかっような感じがした。それと同時にバリバリとガラスの割れる物凄いな音が響き、次々に物が落ちてきた。私はその場にしゃがみ込み「このまま死んでしまふんだ」と思った。揺れが治まり、上を見上げると天井が薄暗い空が見えた。

明かりが消え暗い中、母が「火を消して」と言っていた。母がそんな余裕はない。とにかく外に逃げなければ。机の下に挟まれて「痛い痛い」という母を強引に引っ張り出して、散乱した物を踏み台にして壁をよじ登り外に出た。娘も外に飛び出してきたので、私が着ていたセーターやズボンを着せた。家は2階が道路側にずり落

ち1階もほとんど倒壊、父が居た茶の間も潰れていた。「おじちゃん」と何度か叫んだが返事が返って来なかった。私は父が亡くなったことを覚悟した。村の人たちが、チェーンソーを使って柱などを切り、瓦礫を除いて一生懸命に父を探してくれた。レスキュー隊も来て家の中から出てくれたが、すでに亡くなっていた。父を車庫に安置し、手を切っていた娘は病院へ、私と母は近所の人の車の中に避難した。母はショックでずっと寝ていた。

夫は旅行先から午前1時くらいに急いで戻ってきた。家が潰れたので、食べ物ほとんどなかったが、近所の人がおにぎりなどを持ってきてくれたので、本当に助かった。村や近所の人たちには感謝している。

あつという間の1年で、ほとんど田んぼが作付けできない状況でした。父は田んぼが命のような人だったので、今の現状を見たらとても悲しいと思う。父が守ってきた田畑を1日でも早く復興することが父への供養になるという思いで、残された私たちがやれるだけのことはやっつけていこうと思う。

震災から1年 復興へのそれぞれの思い

震災から1年を迎えて、一人ひとりが持つさまざまな思いを語っていただきました。

復興に向けての合言葉

川口町復興標語の入賞作品決まる

町では、町民が復興に向かって一つになれるような「合言葉（又はスローガン）」を掲げようと、かねてから復興標語を募集していましたが、10月3日、その審査委員会が開かれ、厳正な審査の結果、小学校低学年及び高学年、中学生、一般の各部門ごとに最優秀賞1点、優秀賞2点が決まり、震災復興祈念式典においてそれぞれ表彰されました。応募者及び応募作品数は、小学生278人から488点、中学生148人から280点、一般56人から156点の応募をいただきました。ご応募ありがとうございました。入賞作品は、これから復興に向けてがんばる町のスローガンとして大いに活用していく予定です。

川口町復興標語審査委員

- 星野和久（川口町長） 今井隆夫（川口中学校長）
- 中静憲夫（泉水小学校長） 桑原 昭（川口小学校長）
- 丸山正次（田麦山小学校長）



▲震災復興祈念式典での表彰式

川口町復興標語

入賞作品及び入賞者（敬称略）

- 小学生低学年の部**
 - ▽最優秀賞 元気だせ
 - 力を合わせてふっこうだ
 - 大淵朝香（川口小学校3年）
 - ▽優秀賞 地しんにまけるな！
 - がんばれ川口町
 - 綱 千里（川口小学校2年）
 - ▽優秀賞 わすれない
 - やわしいこころをいしたよ
 - 櫻井詩緒里（田麦山小学校1年）
- 小学生高学年の部**
 - ▽最優秀賞 広げよう
 - 夢と希望の川口町
 - 内藤美穂（川口小学校6年）
 - ▽優秀賞 町民がみんなだめぞす
 - 明るい未来
 - 丸山 緑（川口小学校5年）
 - ▽優秀賞 大切な みんなのきずなを
 - わすれない
 - 佐藤佳奈子（川口小学校4年）
- 中学生の部**
 - ▽最優秀賞 大地震
 - 地域のきずなに大きな自信
 - 古田島裕斗（川口中学校1年）
 - ▽優秀賞 世界の人々に伝えよう
 - 頑張ってます川口町
 - 大淵絵梨香（川口中学校3年）
 - ▽優秀賞 震度7 でもわたしたちは
 - 負けません！
 - 阿部令華（川口中学校1年）
- 一般の部**
 - ▽最優秀賞 わすれるな災害の怖さ
 - もちつづけよう防災の心
 - 喜多村幹夫（川岸）
 - ▽優秀賞 とりもどせよう豊かな自然
 - 固く結ぼう地域の輪
 - 山田かつ子（貝ノ沢）
 - ▽優秀賞 復興は
 - みんなの力とコミュニティ
 - 平澤良樹（牛ヶ島）

川口町震災体験集

「震度7！その時わたしは〜」忘れられない大震災の記憶〜」が完成

町では、町民一人ひとりの貴重な体験を風化させることなく、後世に語り継ぎ、防災意識の高揚につなげようと、震災体験集を発行する準備を進めていましたが、このほど完成し、全戸に配布します。貴重な体験を寄せていただいた皆さんありがとうございました。

内容

- ・震度7！その時わたしは
- ・地震に負けない！わたしの奮闘記
- ・わが町、わが家復興への願い
- ・わたしの10月23日
- （小・中学生体験記）
- ・川口町復興標語



忘れてはいけない、風化させてはいけない、語り継ぐ震災体験

震度7！その時わたしは

かつて経験したことのない震度7の激震に襲われた時の皆さんの体験談を紹介します。

トイレに入っていたとき

佐藤 千秋（川口2）



トイレから出ようと思った瞬間、何とも言えない音、ザーとも、ゴーとも、聞こえる音とともにズシューンと上に飛び上がった。上がってすぐに下に落されたが、すぐに地震とは思わなかった。そのあと横に揺れ出し、長く左右に揺れた。その時始めて、これは地震だと気が付き、転ばないようにと一生懸命に両手をいっぱい伸ばし入口の左右の柱に力を入れて突っ張り揺れのを待った。

台所のほうで「電池、電池」

という妻の音が聞こえてきたが、次々と大きな余震と思われる揺れが続き、トイレから出られなかった。

横揺れの合間を見て、トイレから出ることができた。余震の中で地震よ治まってくれ」と心の中で祈りながら、やっとの思いで懐中電灯を探り当て、点けてみて驚いた。障子戸はもちろん、壁も落ちそれは惨憺たるものであった。

障子戸の下に潜り、物を払いのけながら台所へ向かった。食器棚や冷蔵庫は倒れ、中身が全部床に散乱しておりとてもそこを歩いて通ることはできなかつた。

倒れた食器棚、そして崩れ落ちた壁、冷蔵庫の裏側を渡り歩いて流し台の所に行った。そこには妻がいたが「足が足が」と言ったまま動かさない。懐中電灯で照らしてみた

ら足が流し台と床の間に挟まれて動けなくなっていたのだ。私は流し台を持ち上げてみたが、とても上がる物ではなかつた。

挟まれていた足に履いていたストッキングを脱がせて引張ってみたら抜けた。「ああ良かった」、だが抜けた足の指先は、内出血を起こして紫色になっていた。すぐに応急措置はできない。

一時も早く安全な場所へと思い、妻とともに家から外にそしてJ.R変電所前の広場にいった。もうたくさんの人たちが集まっていたがどの顔も皆、恐怖の色がにじみ出ている。こんな大きな地震が川口の町を突然襲ってくるなんて誰も予想していなかつた。ああ怖いのは地震。身を持って体験したあの恐怖。何時までも頭から離れない。

美容室で仕事中に...

大野美奈子（川口5）



美容室の店内には2人のお客様がいた。パーマをかけ終えお湯で流し、ブローをしようとしていた。グラグラと少し揺れていることを感じ、「地震だね」と言い終わる前にドーン。とつさにイスに掴まった。辺りが真っ暗になるなか、これが縦揺れだと思つた。台所から何が起つたのか分からない母が、「今の何だ」と叫んでいる声が聞こえてきた。そのうち激しい揺れとともにガチャガチャと物凄い音がした。それまで地震を恐ろしいと思っていなかつた私は、すぐに治まるだろうと思ひ、外に逃げようと思っていなかつた。その時、お客様に外に出たほうが良いと言われた。子どもや子どもの友達に「大丈夫？」と声を掛ける

と返事がかえってきたので、「早く外に出な」と叫んだ。店の入口は歪んだのか、開

かなくなっていたので、お客様を自宅の玄関に誘導して外に出た。お客様の頭が濡れたままだったので、申し訳なかつたがケガをしなくて良かったと思つた。

皆が外に出てから立正校成会の敷地に避難させてもらった。自動車の前には、石油タンクが倒れていて出せなかつたので外にいた。仕事が忙しくあまり食べていなかった空腹と、薄着で外に出た寒さで震えていた。立正校成会で毛布を貸していただき、とても助かつた。立正校成会の方が「新しい施設なのですぐ外に逃げられるようにしておいて、中に入りませんか」と言ってくれたので、中に入ってふとんをかぶり寒さを凌いだ。

父が仕事から帰ってきてい

なかつたので、トンネル崩落などの様々な情報を聞くとても心配になった。翌日、会社から自転車帰ってきたので安心した。

家が潰れるような地震が起こるとは信じられなかつた。今ではダンブカーが通り家がきしむような音がするたびに恐ろしくなる。



泳ぐ宝石に魅了 川口町錦鯉品評会

10月23日、相川サンウッドにおいて川口町錦鯉品評会が開催されました。

当日は第18部から第65超部まで計163匹の錦鯉が出品され、会場を訪れた人は泳ぐ宝石に魅了されていました。(審査結果は23ページをご覧ください。)



川口小学校 わかたけまつり

10月23日、川口小学校においてわかたけまつりが行われました。同校児童たちが学年ごとに全国から寄せられた支援への感謝の気持ちを込めて合唱や合奏などの発表会を行いました。また各教室に分かれて、キャンドル館やスポーツ博、スライム作り屋など、いろいろな催し物を出店しました。



田麦山小学校 文化祭

10月23日、田麦山小学校において文化祭が行われました。参加者全員で震災の犠牲者に黙祷した後、同校児童たちは復興への思いを込めて合唱などを発表しました。また全校児童による「はるかなるふるさと田麦山」の合唱では、震災前の田麦山の風景を思い出しながら、来場者と一緒に口ずさんでいました。



スポーツフェスティバル グラウンドゴルフ大会

10月10日体育の日、蒼丘の杜公園多目的広場においてグラウンドゴルフ大会が行われました。

競技には各地区から団体戦25チーム、個人戦162人が参加し熱戦を繰り広げました。大人から子どもまで一緒になって、心地よい汗を流していました。



美術特別展・中越地震写真展

震災復興祈念事業の一環として、世界のトップアーティストとして活躍されている画家 須藤眞啓氏の美術特別展(10月5日～21日)及び写真展 新潟県中越地震「あの時を忘れない」(10月22日～30日)が交流体験館「杜のかたらい」において開催されました。

美術展では展示された須藤氏の代表作45点に来館者は魅了されていました。また写真展では、同氏が昨年11月から今年3月にかけて撮影した写真が展示され、熱心に鑑賞していました。



ゴスペルで町民に元気を 「ブラウンブレスドボイス」ゴスペルコンサート

10月23日、役場前駐車場で、栃木県宇都宮市のゴスペルグループ「ブラウンブレスドボイス」のコンサートが行われました。

このコンサートは、和南津地区と栃木県のボランティア(オール栃木)との交流がきっかけで企画されたもので、「歌で川口町の人たちを元気にしたい」と60人のメンバーのうち40人が当町を訪れました。

当日は「コーラス川口」の友情出演もあり、会場全体に広がる歌声に大きな拍手が送られていました。

かわぐち体験防災キャンプ

10月22日、23日、長岡技術科学大学講師の上村靖司さんの提案による、かわぐち体験防災キャンプ(主催川口町など)が行われました。これは震災以降に全国から寄せられた支援に感謝し、震災経験を忘れることなく復興への足掛かりとするため行われたものです。

10月22日は午後からボランティアと被災者でつくる感謝と復興の「人文字」メッセージが行われ、その日の夜震災を語る会が交流体験館「杜のかたらい」において行われました。23日は本震・震災探索ハイキングが行われ、町内外からの参加者が震央を目指しました。



震災を語る会

震災時に町を訪れたボランティアなど32人が参加しました。

町食生活改善推進委員手製の「ありがとう鍋」に舌鼓を打ちながら、地元町民の震災体験や、ボランティアでの体験などを語り合いました。

震災体験を思い出して涙ぐむ人もいました。



本震・震災探索ハイキング

町内外から79人が参加し、本震震源の真上、震央を目指して木沢会館「よるみ」を出発しました。

町内の小中学校の児童、生徒が寄せ書きした標柱を参加者が交代しながら担いで進み、途中、木沢地区住民から震災体験を聞きながら、約1時間かけて震央に到達しました。

参加者で震央に標柱を建て、中越大震災の経験を風化させないしとしました。

震災1周年
復興祈念イベント

「大地に生まれひとが行き交う いきいき暮らすまち」をめざして

川口町震災復興計画を策定

平成16年10月23日に発生した中越大地震を受け、町では復旧事業や復旧後を見据えたまちづくりの方向をまとめた「川口町震災復興計画」を策定しました。

「川口町震災復興計画」策定にあたり、町では平成17年2月1日に川口町震災復興対策本部を立ち上げ、復興計画策定班において策定作業を進めてきました。

策定するにあたり、町内各地区がそれぞれ復興への課題と目標をもって復興プログラムを樹立する必要があることから、町内11地区に地区震災復興委員会を設置し、地域ごとに復旧・復興への取組を示すこととしました。

また、学識経験者や各種団体が構成する川口町震災復興計画検討委員会を設置し、各分野での専門的意見の集約も行ってきました。

そして、10月17日、川口町震災復興対策本部会議において本計画が審議・決定されました。

本計画の期間

計画策定時から平成26年度までの10年間とし、次の3つの段階を設定します。
初期：平成17～19年度
中期：平成20～22年度
後期：平成23～26年度

復興の理念

豊かな自然や人々の暮らし・文化など地域資源を見つめ直し、それらを最大限に生かし、様々な体験を求めて人々が行き交う多様な交流を創出していきます。そして、復興の主役であるこのまちに暮らす人々が、いきいきとした夢と希望を持ち、安心して暮らせるように、下記に示す4つの視点と5つの方針の下に「大地に生まれひとが行き交ういきいき暮らすまち」の実現を目指します。

復興への取組 復興に取組むにあたっての4つの視点

- 失われたものを復元する
 - ・個人の財産（住宅・土地・健康・生業など）
 - ・町の財産（道路・公園・公共施設など）
 - ・日常生活環境（仮設住宅からの復帰など）
- かねてからの課題解決
 - ・過疎化、少子高齢化への対応
 - ・農業の振興
 - ・克雪・利雪・親雪
- 得たものを活かす
 - ・「震度7のまち」としての経験・知名度
 - ・コミュニティの結束
 - ・外部との交流（震災時の支援）
- 新しい価値の創造
 - ・人が集い、交わる地としての価値を創出
 - ・自然や人、文化など、地域資源の価値の再認識

将来像の実現に向けた5つの方針



将来像
大地に生まれひとが行き交う いきいき暮らすまち

※復旧と復興とは
災害により失われた生活・生産基盤の再生を「復旧」とし、災害以前の状態を取り戻し、さらなる発展を目指す取組を「復興」と位置づけます。

復興重点プロジェクト

震災から早期に立ち直り、これまで以上に住みよい川口町を目指す想いを、少しでも早く形に表すことも重要な復興のあり方です。

そこで、復興への取組をリードし、復興へのきっかけとなる取組を「復興重点プロジェクト」と位置付け、町民の復興への希望・シンボルとするもので、下記の「活気あるタウンコアゾーン」「新たな交流の創出」「活力あふれる農業の再生」の3つの重点プロジェクトを設定しました。



▶復旧・復興が進む東川口

プロジェクト 1

活気あるタウンコアゾーンの形成

◇川口町の中心市街地を復興のシンボルとなる「タウンコアゾーン」として位置付け、災害に強い安全・安心な暮らしの基盤づくりと世代を越えて集い賑わうまちづくりを進めていきます。

- 安全・安心な暮らしの基盤づくり
 - ・道路ネットワークの形成
 - ・雪や水害に強い市街地の形成
 - ・広場・公園の整備
 - ・公営住宅の整備
- 世代を越えて集い賑わう空間づくり
 - ・交流の場となる駅前空間の形成
 - ・復興のシンボルとなる中心軸の形成
 - ・シンボルロード沿道の活性化支援
 - ・川口町橋架換後の跡地の活用（川岸地区）

プロジェクト 2

新たな「交流」の創出

◇豊かな自然、四季折々の景観、良質な温泉、人とのふれあいを交流のための資源としつつ、震災の経験を活かした新たな集いのまち（コンベンションタウン）へと展開していきます。

- コンベンションコアの形成
 - ・宿泊・研修施設の整備
 - ・「蒼丘の杜公園」の再生
- コンベンションコアを補完する地区形成
 - ・交流促進センターの整備
 - ・地区における交流拠点の形成と連携
- 地域が取り組む交流の促進
 - ・体験型交流の推進
 - ・交流のための組織づくりと人材育成

プロジェクト 3

活力あふれる「農業」の再生

◇基幹産業としての農業の再生と発展のため、農業経営構造改革を更に推進します。

- 農業経営構造改革の推進
 - ・営農体制の強化や担い手育成、生産性の向上等（力強い農業への取組）
 - ・産物の生産と消費の仕組みづくり（地域循環型農業への取組）
- 推進体制の検討
 - ・JA等、農業振興公社、町、町農業委員会、町生産者協議会との連携強化
 - ・県生協、首都圏アンテナショップ等との連携

復興の基本方針

復旧・復興への取組として5つの方針を立て、各分野ごとで140の事業を盛り込みました。

方針1 暮らしの再建

●基本目標

- ◇2年以内を目途に応急仮設住宅から退去できるような住宅の自力再建と宅地の安全確保を支援します。
◇高齢者や低所得者など自力再建が困難な世帯に対し公共住宅の整備を進めます。
◇地元企業の雇用支援及び公的部門による新たな雇用の創出により被災者の就労支援を行います。
◇震災による精神的ストレス・疾患の対処として、子どもから高齢者までの心とからだの健康づくりを支援します。
◇町内にある歴史・文化的資産を復元・保存し次代へと継承します。

●主な取り組み内容
被災住宅復興資金利子補

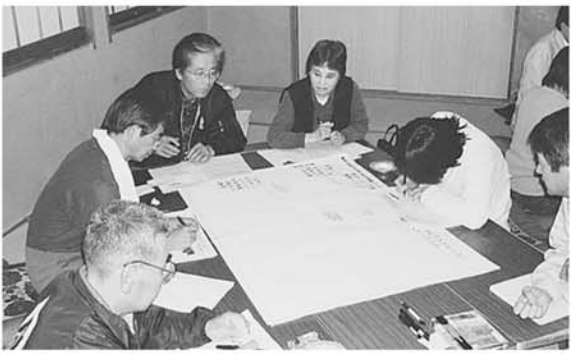
地区別計画

地区別計画は、復興の基本方針に示す内容を、より地域の実情に即したものとし、地域及び住民が取り組む復興に向けたポイントとなる取組を示したものです。

土地利用上のまとまりや地域の成り立ち(旧村等)を踏まえ9つの地区ごとに整理しました。

●和南津地区

住宅の早期再建、農業の本格復旧とともに、震災を契機に生まれた交流と地域資源



荒谷地区震災復興委員会の様子

給・雪国住まいづくり支援、小高地区防災集団移転、罹災者公営住宅整備、心とからだの健康づくり対策など43事業。

方針2 災害に強い安全・安心なまちづくり

●基本目標

- ◇災害の発生による被害を最小限に抑えるための対策と、町や地域が災害時に適切な対応ができる仕組みづくりを進めます。
◇総合的な防災対策や防災体制の強化を図るため、地域防災計画の全面的な見直しを進めます。
◇平成18年度を目途にライフラインの復旧と町道や河川の復旧を目指します。
◇災害に強い道路や河川の整備促進を図ります。特に復興のシンボルとなるよう東川口地区内の道路網、克雪河川等の整備を積極的に進めます。また災害時に孤立しないよう幹線道路の迂回路となる道路の整備促進を図ります。

●主な取り組み内容
防災拠点の整備、地域防災計画の見直し、地域防災組織の育成支援、災害に強い道路

河川の整備促進、ライフラインの復旧・復興、公共施設の復旧など43事業。

方針3 コミュニティの継承と発展

●基本目標

- ◇集落単位のコミュニティ活動を支える集会所の早期復旧を進め、活発な地域活動を支援します。
◇集落の集団移転については、被災前のコミュニティ維持に配慮します。
◇震災を機に生まれた草の根交流を持続する、町外まで広がる「開かれたコミュニティ」を醸成します。

●主な取り組み内容
集会所施設の復旧・再建、公園・広場の整備、地域コミュニティ再建など14事業。

れまでより一層地域コミュニティの形成に取り組みます。

●武道窪・相川地区

農業や養鯉業を再生し、その資源を活かした交流を促進しながら、地域が一体となった集落営農を目指します。

●荒谷地区

宅地の安全確保や道路、河川などの早期復旧、災害時に孤立しない生活基盤づくりを進めるとともに、養鯉業の再生と地域資源を活かした交流を促進します

●木沢・峠地区

農地、養鯉池等の早期復旧による生業の再生を図るとともに、自然や景観、人、食などの地域資源を活かした多様な交流を展開します。

●田麦山地区

住宅の確保による暮らしの再建を進めるとともに、豊かな自然と地域の結びつきを活かした体験、生きがいを持つ生産の場づくりによる交流を促進します。

方針4 まちの活力の再生

●基本目標

- ◇農業の生産基盤・施設については、平成19年3月を目途に復旧させ、3カ年以内に大部分の農地で耕作ができるようにします。また将来を見据えて、町の基幹産業として維持・発展させるため、農業経営構造改革を更に進めます。
◇商工業の復旧・復興に必要な資金借入れや消費拡大のための各種事業に支援を行います。
◇安全・安心の基盤づくりや賑わいを創出する中心市街地(タウンコアゾーン)の再構築に取り組み、町の復興のシンボルとします。

●主な取り組み内容
農地農業用施設の復旧、農業構造改革及び農業経営基盤の強化、手づくり田直し支援、被災商店街復興対策支援、駅前通り沿道整備など21事業。

方針5 交流の拡大

●基本目標

- ◇蒼丘の杜公園施設の早期復旧を目指し、一部施設は利用者ニーズを考慮しながら再生方針を検討します。
◇「震度7のまち」としての経験、知名度を活かし、蒼丘の杜公園を中核にした「集いのまち」として新しい人の流れを創出します。
◇震災時のボランティア交流を活かし、1年後、2年後と途切れることのないような体験型交流を主体にした町民との草の根交流を進めます。
◇首都圏を中心に観光PR事業を推進し、都市住民との交流を促進し、交流人口の拡大を目指します。

●主な取り組み内容
宿泊・研修施設の再建、和南津交流促進センターの整備、体験型交流の促進、観光復興キャンペーン事業など19事業。

実施していきます。また、計画に位置づけた施策・事業の推進のため、町が実施する事業のほか、国・県への支援を要請していきます。

●協働による復興

復興は、行政だけの力では実現しません。その過程において多くの人々が、復興への希望・目標を共有し、持ちつづけていくことが大変重要です。町民の皆さんや企業、団体も参画し、相互の役割に応じて、協働による取組を進めることが必要です。

このため、役場内推進体制づくりや地区震災復興委員会の継続・支援とともに、NPO(民間非営利)などの団体、ボランティア等との連携を図りながら、復興に向けた取組を進めていきます。

実現に向けて

復興の基本方針に基づく施策・事業は、本計画の初期・中期・長期の区分に応じて、適正な進行管理により実施します。

●進行管理と多様な財源・支援措置等の確保

計画の進捗状況を公表し、町民の皆さんと確認しながら、的確な進行管理と調整を



心の健康相談（予約制）

部屋に閉じこもりぎみ、暴力に困っている、ノイローゼぎみ、無気力、痴呆など…。お悩みの方はぜひご相談ください。（完全予約制ですので、安心して相談できます）

日 時 11月22日(火)
13時30分～15時受付

会 場 末広荘
内 容 医師による個別相談。家族の相談も受け付けます。

※秘密は固く守られます。
担 当 医 県立小出病院 小河原先生
申込締切 11月15日(火)
問い合わせ・申込先
生活福祉課 保健係(末広荘) ☎89-2359

いきいき健康教室のご案内 (基本健診事後説明含)

いきいき健康教室では、健康の基本を楽しく学習し、健診結果の解説を行います。健康食の試食や家庭でできる体操の実践も行いますので、ぜひ参加ください。（住んでいる地区以外の会場でも参加できます。）

月 日	時 間	場 所
11月10日(木)	9:15～15:35	木沢会館よろみ
11月14日(月)		生涯学習センター
11月17日(木)	9:15～15:35	末 広 荘
	19:00～21:55	(夜間コース)
12月1日(木)	9:15～15:35	相川サンウッド
12月5日(月)		西川口集落開発センター
12月12日(月)		岡平仮設集会所

持ち物 ・健康手帳（お持ちの方）
・一食分のご飯（普段分）
・筆記用具 [メガネ(必要な方)]
・職場健診や人間ドックの結果
(町の基本健診受診者以外の方)

問い合わせ・申込先
生活福祉課 保健係(末広荘)
☎89-2359

保育園では子どもたちの感情に影響を及ぼすテレビをなるべく見ずに、子どもたちと向き合う時間を持てるように、ノーテレビデーを推奨しています。

CMに切り変わるところで子どもたちにとって感情の分断の習慣化という大きな問題に関わってきます。CMが終わってすぐに同じ感情の続きができるほど、人間は器用ではありません。ぜひ、子どもにひとつの完結したものがたり世界を体験させてください。

ノーテレビデー
チャレンジ

保育園だより

「大きくな～れ!」



インフルエンザ予防接種はお早めに…
毎年、冬期間にインフルエンザが流行します。接種を希望される方は早めに接種するようにしてください。
町では例年65歳以上の方（障害をお持ちの一部の方は60歳から）の予防接種費用の一部を負担しています。（接種者は1500円の負担で接種することがあります。）
川口町・小千谷市・魚沼市で予防接種を行っている医療機関は下表のとおりです。予約制の医療機関もありますので、ご確認ください。
☎89-2359 生活福祉課保健係

インフルエンザ予防接種委託医療機関名

川口町	魚沼市
川口診療所 ☎89-2104	市立堀之内病院 ☎025-794-2450
庄司内科医院 ☎89-2730	県立小出病院 ☎025-792-2111
小千谷市	ほんだ病院 ☎025-792-9550
小千谷総合病院 ☎83-3600	白塚内科医院 ☎025-794-4338
厚生連魚沼病院 ☎83-2870	新田医院 ☎025-794-4555
小千谷さくら病院 ☎83-2680	上村医院 ☎025-792-0143
池田内科医院 ☎82-6568	中島脳外科・内科医院 ☎025-793-3337
北村医院 ☎82-7212	庭山外科医院 ☎025-792-5511
小林整形外科医院 ☎83-1154	虫野診療所 ☎025-792-0097
さわなか医院 ☎81-0058	かねもと外科内科医院 ☎025-792-7678
中村内科・消化器科医院 ☎81-1730	宮医院 ☎025-792-0602
谷口医院 ☎83-0111	金子クリニック ☎025-799-2015
にたはらこどもクリニック ☎81-6811	国保守門診療所 ☎025-797-2062
片貝医院 ☎81-2624	国保入広瀬診療所 ☎025-796-2320
根元整形外科医院 ☎82-4530	
森平レディスクリニック ☎83-3104	
藤巻医院 ☎86-3006	

被災者生活再建支援金の申請期限一部延長される

被災者生活再建支援金の申請期限が一部延長されたので、お知らせします。申請期限は下表のとおりです。

○ 国の生活再建支援金の申請期限

区 分	変 更 前	変 更 後	延長期間
生活関係経費 (家具、家電製品の購入費等)	平成17年11月22日	平成19年3月22日	16カ月
居住関係経費・家賃等 (アパート等の家賃)	平成18年11月22日		延長なし
居住関係経費・その他 (整地費、表示登記手数料等)	平成19年11月22日		延長なし

○ 県的生活再建支援金の申請期限

区 分	変 更 前	変 更 後	延長期間
実績報告書提出期限	平成18年3月31日	平成19年3月31日	12カ月

問い合わせ 生活再建支援班 ☎89-3111 (内線313)

「つくってあそぼ～ワクワク・ゴロリがやってきた!」開催

震災で被害を受けた子どもたちを元気づけるため、NHK教育テレビの人気番組「つくってあそぼ」でおなじみのワクワクさんとゴロリが当町にやってきます。ぜひお越しください。

日 時 11月13日(日)
1回目開場11時 開演11時30分
終演12時
2回目開場13時 開演13時30分
終演14時(予定)

会 場 生涯学習センター
入場料 無料(定員は各回300名)
※立ち見になる場合があります。また、会場の定員を超えた場合には入場をお断りする場合があります。ご了承ください。
※事前の申込みは不要です。

主 催 NHK新潟放送局、川口町
出 演 ワクワクさん、ゴロリ
問い合わせ 企画商工課 ☎89-3112
NHK新潟放送局 ☎025-230-1622



○克雪住宅補助金交付申請受付 11月30日まで

4月1日から受け付けてきた克雪住宅補助金の平成17年度分交付申請は11月30日で締め切ります。「雪国住まいづくり支援」に該当しない方で、融雪屋根や落雪屋根に工事された方は、早めに建設企業課までお申し込みください。
問い合わせ 建設企業課 ☎89-3114

○「雪国住まいづくり支援」補助金の 申込はお早めに

半壊以上の罹災証明を受けた方で住宅を新たに克雪住宅様式で再建する方のための補助事業です。平成18年2月までに着工する方は早めに申し込みください。
問い合わせ 建設企業課 ☎89-3114

和楽美の湯 プール営業時間を変更します

和楽美の湯のプール営業時間を冬期間、次のとおり変更します。
期 間 11月1日(火)～平成18年3月31日(木)
時 間 平 日 10時～17時
土・日・祝日 10時～19時
問い合わせ 教育委員会 ☎89-2119

特別会計

国民健康保険特別会計

	15年度	16年度
歳入	4億2,198万円	4億3,363万円
歳出	4億1,746万円	4億2,605万円
差引	452万円	758万円

- 被保険者数 2,021人
- 1人当たり保険料 49,219円



老人保健特別会計

	15年度	16年度
歳入	6億9,248万円	7億8,620万円
歳出	6億8,205万円	7億4,566万円
差引	1,043万円	4,054万円

- 給付対象者 1,048人
- 1人当たり医療費 757,459円



介護保険特別会計

	15年度	16年度
歳入	3億5,920万円	3億6,894万円
歳出	3億5,430万円	3億4,243万円
差引	490万円	2,651万円

- 被保険者数 1,513人
- 1人当たり保険料 25,367円



簡易水道事業特別会計

	15年度	16年度
歳入	2億392万円	3億1,267万円
歳出	1億7,712万円	2億5,312万円
差引	2,680万円	5,955万円

- 給水人口 5,433人
- 普及率 98.0%



下水道事業特別会計

	15年度	16年度
歳入	4億3,750万円	4億6,991万円
歳出	4億2,097万円	4億4,595万円
差引	1,653万円	2,396万円

- 供用開始区域内人口 5,372人
- 下水道普及率 96.1%



ガス事業会計

収益的収支		資本的収支			
	15年度	16年度		15年度	16年度
歳入	1億7,914万円	2億472万円	歳入	29万円	987万円
歳出	1億4,651万円	4億9,367万円	歳出	4,091万円	5,261万円
差引	3,263万円	△2億8,895万円	差引	△4,062万円	△4,274万円

(不足額3億3,169万円は全額内部留保資金等で補てん)

平成16年度 町の決算

町民1人当たりの町税負担額



※町民1人当たりの額は、平成17年3月末住民基本台帳人口5,591人で割った額です。
※町税の負担額は収入済額に対するもので、法人等が負担した町税も含みます。

主な財政指標と基金・町債の状況

〈主な財政指数〉

財政指数	説明	16年度	15年度		
			川口町	県平均	町村平均
財政力指数	地方公共団体の財政力を示す指標で、1に近くあるいは1を超えるほど財源に余裕があるものとされます。	0.258	0.259	0.407	0.369
経常収支比率	一般財源のうち、人件費、事務費、公債費などの必要経費の割合で70～80%が適正数値です。	93.8	89.6	85.7	85.7
公債費比率	町債(借入金)返済額の一般財源に占める割合をいい、数値が低いほうが望ましいとされています。	12.6	11.8	15.2	14.8
起債制限比率	現在借りている借金が妥当かどうかを判断する数値で、過去3年間の平均が20%以上になると町債の発行が制限される。	9.9	9.0	10.4	10.0

〈基金・町債の状況〉

区分	15年度末現在高	16年度	
		現在高	町民1人当り現在高
基金(積立金)	18億7,510万円	16億220万円	286,568円
町債(借入金)	52億8,735万円	59億4,691万円	1,063,657円

※町民1人当たり現在高は、平成17年度3月末住民基本台帳人口5,591人で割った額です。

一般会計、特別会計合わせて

歳入総額 102億3,895万円

歳出総額 90億5,732万円

一般会計

平成16年度の一般会計の決算額は、歳入76億5,300万円、歳出62億9,783万円で前年に比べ歳入は49.6%、歳出は27.4%それぞれ増額となり、翌年度繰越事業分の12億1,137万円を差引いた1億1,438万円の黒字決算となりました。

決算額の大幅な増加要因は、昨年の7.13水害、中越大震災及び豪雪により甚大な被害を受け、災害救助費や災害復旧費が大幅に増加したことによるものです。

歳入面においては、自主財源の基となる町税が災害に伴う減免措置により4,456万円の減収となり、使用料及び手数料も蒼丘の杜公園施設等の被災による利用停止により大幅な減額となりました。

9月定例会議において平成16年度の決算が認定されました。

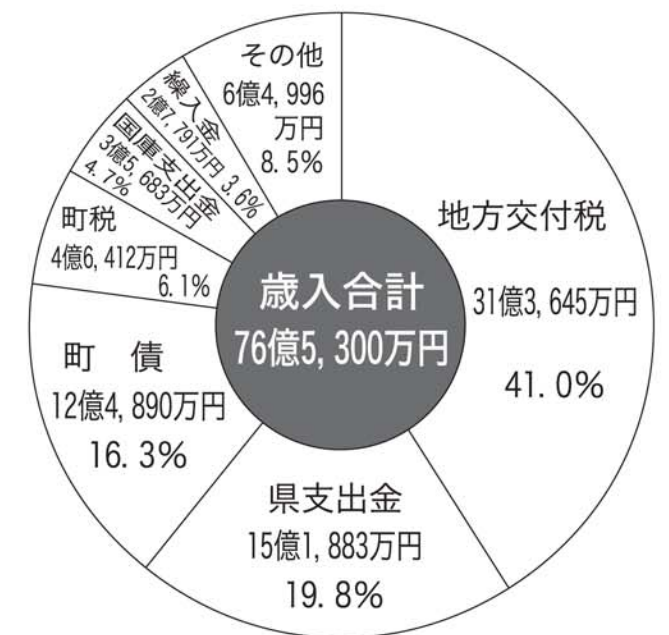
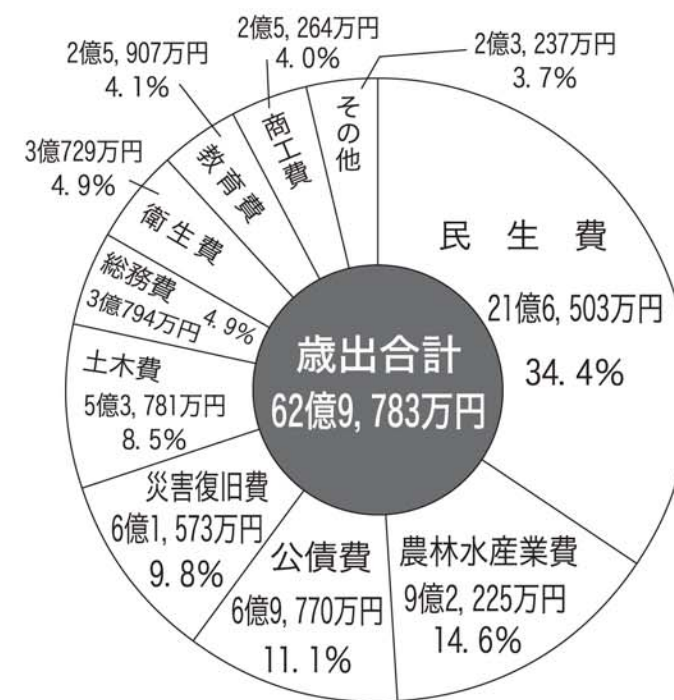
一般会計と5つの特別会計及びガス会計を合わせた歳出決算総額は、90億5,732万円となり、前年度より18億7,578万円の増額となりました。皆さんから納めていただいた税金をよりよいまちづくりのためにどのように使われているかを知っていただくため、一般会計と特別会計の決算の概要についてお知らせします。

一方で、歳入に最も大きなウエートを占める地方交付税は災害関連経費の増加により前年度に比べ16億1,633万円の増額となり、国・県支出金も11億3,722万円の大幅な増額となりました。

歳出面においては、災害救助費や災害復旧費等の災害復旧関連経費が大幅に増額となりました。

財政の弾力性を判断する指標である経常収支比率は93.8で昨年に比べ4.2ポイント上昇し、財政の硬直化が進んでいます。

このように、未曾有の被害を受けた当町の財政は歳入歳出の多分野にわたって影響を受けた決算となりました。



平成 16 年度に実施した主な事業 (一般会計)

事業名	事業費
総務費 3億794万円	●財産管理費(庁舎等管理費) 1,466万円 ●選挙費(参議院議員通常選挙費、県知事選挙費) 1,221万円 ●賦課徴収費(町税等徴収関連経費) 939万円 ●バス運行補助金、バス運行業務 848万円 ●広報かわぐち印刷業務 420万円 ●コミュニティ助成事業補助金 220万円 ●総合行政ネットワーク保守業務 160万円 ●ホームページ作成業務 158万円 ●情報セキュリティ審査、監査業務 107万円
民生費 21億6,503万円	●被災者生活再建支援事業補助金 10億6,500万円 ●住宅応急修理支援費 3億8,424万円 ●災害救助費(家屋調査業務、小規模住宅等解体業務、仮設用トイレ借上料、応急仮設住宅造成工事、災害弔慰金、自治体応援職員負担金、生活用品、学用品扶助等) 2億1,180万円 ●身体障害者福祉対策(更生医療給付、補装具給付、保護措置費、障害者支援費) 5,353万円 ●児童福祉対策(児童手当支給) 2,453万円 ●在宅老人福祉対策(介護予防生活支援事業、老人クラブ助成、シルバー人材センター助成、老人保護措置費、高齢者生活福祉センター生活援助員設置、在宅介護支援センター運営事業) 1,347万円 ●県単医療費助成(重度心身障害者、ひとり親家庭、老人) 1,065万円 ●町単独福祉対策(父子手当、精神障害者・腎臓機能障害者医療費助成、特定疾患・精神障害者交通費助成、福祉タクシー利用料助成、心身障害者扶養共済掛金助成、心身障害児者生活支援助成、介護者手当支給、すこやか誕生祝金支給) 534万円
衛生費 3億729万円	●小千谷地域広域事務組合負担金(ごみ、し尿分) 1億46万円 ●災害廃棄物一時集積場造成、管理業務 4,679万円 ●災害廃棄物収集・災害し尿汲取運搬処分業務 4,323万円 ●成人病予防事業(基本健診、胃がん、子宮がん、肺がん、乳がん、大腸がんなどのがん検診、生活習慣病予防改善運動指導業務) 1,932万円 ●一般廃棄物収集業務 1,679万円 ●予防接種、結核健康診断 683万円
農林水産業費 9億2,225万円	●健康増進施設整備事業(本体、設計監理費) 4億5,328万円 ●県営事業負担金(牛ヶ島農免農道、環境整備、基盤整備) 1億1,670万円 ●農村振興総合整備事業(農道、集落道) 1億729万円 ●きのこ王国支援事業(低コスト生産施設整備補助金) 468万円
商工費 2億5,264万円	●宿泊・温泉施設管理費 1億7,730万円 ●観光施設管理費 3,205万円 ●地方産業育成資金、商工組合中央金庫貸付金、町商工業振興・地域活性化事業補助金 2,070万円 ●川口まつり協賛会・武者行列保存会補助金 525万円
土木費 5億3,781万円	●克雪事業(除雪機械点検、除排雪委託、施設管理費) 1億6,010万円 ●地方道路交付金事業(測量委託、震災復旧) 8,098万円 ●地方特定道路整備事業(測量委託、用地補償費) 5,002万円 ●まちづくり交付金事業(東川口環状線、自然ふれあい広場) 4,448万円 ●河川整備事業(水辺プラザ敷地造成) 2,178万円 ●道路改良・舗装事業(改良1路線、舗装1路線) 989万円 ●克雪住宅整備事業(克雪住宅協調整備事業補助金) 761万円
消防費 1億6,348万円	●小千谷地域広域事務組合負担金(常備消防分) 1億1,293万円 ●災害対策費(災害出動関連経費) 3,053万円 ●非常備消防費(消防団員報酬、費用弁償等) 1,432万円 ●防災行政無線保守点検業務 177万円
教育費 2億5,907万円	●奨学金貸与事業 1,200万円 ●文化財保護事業(荒屋遺跡用地購入費) 1,121万円 ●トレーニング室運営経費 1,059万円 ●生涯学習推進事業 667万円 ●学校施設補修工事(小学校・中学校) 505万円
災害復旧費 6億1,573万円	●公共土木施設(道路102箇所、河川5箇所) 3億2,391万円 ●農林水産施設(農地農業用施設354箇所、林業施設4路線) 9,489万円 ●社会福祉施設(保育園、末広荘、ぬくもり荘、子育て支援センター) 1,830万円 ●庁舎等(庁舎、車庫) 1,693万円 ●保健衛生施設(斎場) 1,633万円 ●公営住宅(町営5棟、県営2棟) 1,227万円

ゴミを減らそう

家庭でできるエコ活動

増え続けるごみは大きな社会問題です。町内から出る燃やすごみの量は毎月約120トン。町ではごみの減量とリサイクルを推進するため、生ごみ処理容器を購入した人に、購入費の一部を補助しています。

生ごみ処理容器の購入費を補助

補助金額

生ごみ処理容器1個につき、購入価格が1万円までは50%補助(限度額3千円)、1万円を超えるものは50%補助(限度額3万円)とします。ただし、千円未満は切り捨てとなります。

生活福祉課窓口にて、購入した日から1カ月以内に補助金交付申請書及び実績報告書を提出してください。

※交付申請、実績報告の用紙は生活福祉課にあります。

生ごみ処理容器の種類を紹介

①コンポスト容器
土中の微生物を利用して、生ごみを分解、堆肥化させる容器です。

②密閉式容器
ほかしといわれる生ごみ醗酵堆肥化材(EM)を生ごみにふりかけて生ごみを醗酵させる容器です。そこ

③電動式生ごみ処理容器
乾燥式：ヒーターで加熱して生ごみを乾燥させることで、生ごみの減量化を図ります。

・微生物分解方式：オガクズのような微生物の菌床を使い、分解を行うものです。堆肥として利用するには熟成が必要です。



電動式処理容器



密閉式容器

町の補助制度を利用しました!

微生物分解式を購入

松崎千鶴さん(川口4)

「ごみ処理場を見学した時に個人個人でごみを減らす努力の必要性を感じたのが購入のきっかけです。容器は1日の処理量も限られ、生ごみの選別も必要ですが、上手に使用すれば良いのだと思います。できるだけ細かくして入れると2〜3日で分解されます。まだ堆肥として活用していませんが、プランターに混ぜたりして再利用したいと考えています。臭気も特に感じませんが、もう少し安価であればなあという気がします。」



2〜3日で分解されます。熟成すると肥料にも使えます

乾燥式を購入

関 茂さん(上河原)

「夏に生ごみの臭いが気になったし、ハエがたかるのも嫌だったので購入しました。取扱説明書には、生ごみの量が約7分の1になるとありましたが、そのくらい少なくなったという実感はありません。腐らずに処理できます。乾燥させるので汁がたれませんが、家族なので1回に1袋分は少なくなった気がします。あまり良くなかった点は、乾燥中と乾燥後に少し焦げたような臭いがすること、容器に入れて良い生ごみに制限のあることです。」



容器に半分位あった生ごみが、こんなに少なくなりました

購入金額：6万7620円
補助金額：3万円

購入金額：5万4800円
補助金額：2万7000円

元気モリモリ コンロひとつでアイデア料理

さんまのあちゃら煮



さんまなどの背の青い魚類には、動脈硬化を防ぎ、脳や目にもいいといわれるドコサヘキサエン酸やイコサペンタエン酸が多く含まれています。今月は手軽に作れるさんま料理を紹介します。

●材料 (4人分)

- さんま……………2尾
- 片栗粉……………適量
- サラダ油……………適量
- みりん……………大さじ4
- しょうゆ……………大さじ2
- 酒……………大さじ2
- 赤唐辛子……………1本

●作り方

- ①さんまは頭と尾を切り落とし、1尾を4～5切れの筒切りにし、内臓を取り除いて洗う。
- ②さんまの水気をふいて、片栗粉を全体に薄くまぶす。
- ③フライパンに油を熱し、②のさんまをいれて両面を焼く。この中に調味料と赤唐辛子の小口切りを加え、中火で煮詰める。
(様子をみてだし汁または水を加える)

「コンロひとつでアイデア料理」は食生活改善推進委員が紹介しています



右から
涌井 智子 (前 原) ☎ 89 - 3803
小見智恵子 (大 形) ☎ 89 - 4023



復興祈念フェスティバルin荒屋を開催 荒屋は元気ががんばっています！

10月23日、西川口集落センターにおいて復興祈念フェスティバルin荒屋が開催されました。
これは住宅の復興だけでなく住民に少しでも元気になってもらい、子どもやお年寄りの心のケアなど、心の面の復興の足掛かりにしたいと、荒屋町会の主催で行われたものです。

同町会は10人の復興プロジェクトチームを作り、震災

から1周年の10月23日に住民みんなが元気になれるイベントの開催を目指して準備を進めてきました。
当日は、地区住民約100人が参加し、食事しながら胡弓演奏会を楽しみました。またボランティアで訪れた寿司職人のにぎり寿司に「うんめえの」と舌鼓を打っていました。
参加者は和気あいあいに語り合い、会場は笑い声が絶えませんでした。荒屋は復興に向かって元気ががんばっています。

クリスマス音楽発表会を開催します

ピアノや管弦楽器のほか、コーラスなど様々なジャンルの演奏会が行われます。ぜひお越しください。

日時 12月4日(日) 14時から

会場 交流体験館

ゲスト ピアニスト 桑原十弾氏

問い合わせ 交流体験館「杜のかたらい」
☎ 81-4404
☎ 89-2119
教育委員会

川口町長選挙 川口町議会議員補欠選挙

告示日 11月22日 投票日 11月27日です

任期満了による川口町長選挙及び議員欠員による川口町議会議員補欠選挙が執行されます。大切な1票です。棄権することなく投票しましょう。

期日前投票を ご利用ください

投票日に仕事や旅行などで投票所に行けない人はぜひ期日前投票をご利用ください。
日時 11月23日(水)～
11月26日(土)

午前8時30分～午後8時
場所 期日前投票所(役場正面玄関を前にして左側に仮設建物を設置してあります)

不在者投票

指定病院や特別養護老人ホームなどに入院・入所している方は、その病院・施設で投票できますので、病院等にお尋ねください。

各地区投票所のお知らせ

仮設住宅入居者は現在住民登録されている場所での投票になります。なお、川口小学校、川口中学校仮設住宅に住民登録されている方は、第3投票区での投票になります。

投票日当日の各地区の投票場所は次のとおりです。(投票時間は午前7時から午後8時まで)

- 第1投票区 川口町生涯学習センター(中山・竹田・牛ヶ首・川口1・7・貝ノ沢)
- 第2投票区 和南津仮設集会所(八郎場・上河原・長坂・下村・野田)
- 第3投票区 西川口集落開発センター(小和北・相川口・岩出原・山の相川団地・荒屋・新敷・原新田・中新田・川岸)
- 第4投票区 西倉集落開発センター(西倉・鷺巣)
- 第5投票区 牛ヶ島集落センター(牛ヶ島)
- 第6投票区 ふれあい交流館(武道窪・相川1・3・荒谷)
- 第7投票区 田麦山小学校(前原・大形・田中・大谷内・小高)
- 第8投票区 木沢集落開発センター(木沢・峠)

なお、第4投票区、第5投票区、第8投票区は繰り上げ投票を行います。(投票時間は午前7時から午後6時まで)

川口町職員を 2次募集します

町では、平成18年4月採用予定の職員を次のとおり2次募集します。地方自治の推進に意欲のある方の応募をお待ちしています。
総務課に詳しい募集案内と申込用紙がありますので、必要の方はご請求ください。

一般事務職(初級) 若干名

応募資格 昭和55年4月2日から昭和63年4月1日までに生まれた方。ただし4年制大学を卒業した方は除きます。

試験内容
試験日 平成18年1月15日(日)
試験会場 川口町役場
試験方法 教養試験、作文試験、事務適性検査
第2次試験 第1次試験合格者へ通知します。

申込期限 11月25日(金)
申込方法 所定の申込用紙で役場総務課までお申込みください。(郵送の場合も期限までに必着とします。)

問い合わせ 総務課 ☎ 89-3111
FAX 89-2110

県弁護士会巡回無料法律 相談会を実施します

県弁護士会の弁護士が無料で法律相談を受け付けます。日頃、お悩みのことがありましたら、この機会にご相談ください。

日時 11月18日(金) 13時～16時

会場 末広荘
担当 高橋賢一弁護士
※先着8名まで受け付けます。
問い合わせ 生活福祉課 ☎ 89-4418
町社会福祉協議会 (ぬくもり荘内) ☎ 89-3117

これからも伝統を守ります 泉水小学校 創立80周年記念式典

10月16日、泉水小学校において創立80周年記念式典が行われました。同小学校は大正15年の創立で地域に根ざして歩んできた学校です。

式典には約1000人が出席しました。全校児童46人が喜びの言葉「泉水小学校80周年の伝統を守りいっそうすばらしい校風を築いていくことを誓います」「おめでとう泉水小学校」と述べると会場は感動に包まれました。



また校区の住民が寄贈した新しい衣装で5・6年生は伝統の踊り「石投げ甚句」を披露しました。

ギターリスト畠山徳雄さんとグループの皆さんによるギター演奏では児童たちがリクエストした曲などが演奏され、出席者は手拍子を打ちながら一緒に歌っていました。

泉水小学校、交通安全模範校で表彰



▲5月に実施した自転車教室の様子

泉水小学校は9月21日付け、県警察本部長及び県交通安全協会長の連名で、交通安全優良校として表彰を受けました。

これは同校が長年、児童に対する交通安全教育を積極的に行い、交通事故防止に成果をあげたことから、他の模範となる学校として表彰されたものです。

泉田知事 町民を激励

くいを掛け、熱心に復興の状況などを聞いていました。

10月23日、田麦山小学校と、東川口の駅前商店街に泉田裕彦知事が訪れ、震災から1周年を迎える町民の激励と町の復興状況を視察しました。泉田知事は田麦山小学校で行われた文化祭で、同校児童たちによる合唱などの発表会を見学。その後、児童や来場した町民を激励しました。また東川口の駅前商店街を訪れ、復興が進んだ商店街を視察。商店主など町民に気さ



連合新潟から義援金をいただきました

連合新潟（日本労働組合総連合会新潟県連合会）から町の復興に役立ててほしいと義援金200万円をいただきました。ありがとうございました。



板橋区にアンテナショップ 「とれたて村」オープン

10月14日、板橋区ハッピーロード大山商店街に町の特産品の販売や観光、交流の拠点となるアンテナショップ「とれたて村」がオープンしました。

これは、同商店街が空店舗を活用し商店街の活性化につなげようと、板橋区と交流のある全国の市町村の特産品を販売し、あわせて当該市町村との交流促進を図るため設置したもので、当町を含む全国9市町村が参画しました。正式な名称は全国ふるさとふれあいショップ「とれたて村」



といい、運営はすべて同商店街が行います。

当町は長年板橋区民まつりに参加し、観光PRや物産の販売を通して板橋区民との交流を進めておりますが、「とれたて村」のオープンにより首都圏に常設の特産品販売拠点が誕生することになりました。

町では、えちご川口農業振興公社を主体に、米や切り餅、農産加工品などの販売促進に取り組みます。あわせて当町から板橋区民への情報発信の拠点として、交流促進を図っていく予定で、今後大きな成果が期待されます。

震災復興を願う 「地震なんかに負けないぞうー川口」を開催

10月20日、町と町老人クラブ連合会主催による「地震なんかに負けないぞうー川口」が生涯学習センターで開催されました。これは、中越大地震から1年を節目に、「これからも元気を出してがんばろう」という趣旨で行われたものです。

当日は各地区から約280人が来場し、19組の老人クラブ会員によるカラオケや踊りが披露されました。飛び入りも登場するなど会場は大いに盛り上がり、来場者は笑顔で楽しいひとときを過ごしていました。



大会・審査結果のお知らせ (敬称略)

魚沼市三郡中学校新人大会

陸上競技(9/28 十日町市陸上競技場)

〈2年生競技〉走高跳女子

2位 小見真理江

野球(10/6・8 魚沼市薬師野球場)

2位

卓球男子(10/5 小出郷体育館)

〈団体戦〉 3位

卓球女子(10/5 小出郷体育館)

〈団体戦〉 2位

〈個人戦〉

1年の部

1位 小野塚美香

3位 中林 夏希

2年の部

2位 平沢 英佳

3位 古田島美紀 渡辺 寛子

ソフトテニス女子

(10/5 蒼丘の杜テニスコート)

〈団体戦〉 3位

〈個人戦〉

3位 渡辺 沙織(2年)

関口 潔江(2年)

スポーツフェスティバル

グラウンドゴルフ大会

(10/10 蒼丘の杜公園多目的広場)

▼団体戦(男子)

優勝 やっぱり東部

2位 田麦山

3位 だーすけ東部

▼団体戦(女子)

優勝 東部レディース

2位 牛ヶ島D

3位 東部コスモス

▼個人戦(男子)

優勝 目黒喜代司(東川口地区館)

2位 吉原 昌隆(東川口地区館)

3位 佐藤 和久(田麦山地区館)

▼個人戦(女子)

優勝 星野 宣子(西川口地区館)

2位 小林さとみ(和南津地区館)

3位 関 エミ子(牛ヶ島地区館)

町錦鯉品評会

(10/23 相川サンウッド)

全体総合優勝 宮 克則(荒谷)

最優秀賞 小林 勇二(木沢)

各部門優勝

第18部

紅白 石坂 良一(相川1)

三色 小林 勇二(木沢)

昭和写りもの 宮 日出男(荒谷)

光もの 広井 竹二(相川2)

その他 小林 勇二(木沢)

第25部 増田 正利(牛ヶ首)

第35部 宮 日出男(荒谷)

第45部 増田 正利(牛ヶ首)

第55部 小林 孝(木沢)

第65部 小林 孝(木沢)

第65超部 宮 克則(荒谷)